

一般社団法人日本地域看護学会

2025 年度社員総会

I. 日 時 2025 年 6 月 14 日（土）11：00～12：30

II. 会場形態 Zoom によるオンライン会議
配信元：株式会社ワールドプランニング会議室
（東京都新宿区神楽坂 4 丁目 1 番 1 号）

III. プログラム

1. 開会の辞

2. 議事録署名人の決定

3. 議題の承認

1. 2024 年度事業報告について

【第 1 号議案】

1) 2024 年度事業報告

2) 2024 年度委員会活動報告

(1) 編集委員会

(2) 研究活動推進委員会

(3) 広報委員会

(4) 教育委員会

(5) 国際交流推進委員会

(6) 表彰論文選考委員会

(7) 健康危機支援委員会

(8) 実践促進委員会

(9) 次世代育成推進委員会

(10) 地域看護関連学会合同委員会

2. 2024 年度収支決算について

【第 2 号議案】

3. 2024 年度監査報告について

【第 3 号議案】

4. 2025・2026 年度事業計画について

【第 4 号議案】

5. 2025 年度収支予算について

【第 5 号議案】

6. 2025～2026 年度理事・監事の選任について

【第 6 号議案】

7. 細則の改正について

【第 7 号議案】

8. その他

4. 第 30 回学術集会長の紹介

5. 第 28 回学術集会および第 29 回学術集会のご案内

6. 意見交換

7. 閉会の辞

IV. 資 料

資料 1-1	2024 年度事業報告書（全体報告）	1
資料 1-2	2024 年度事業報告書（委員会報告）	4
資料 2	2024 年度収支計算書・財産目録・貸借対照表	17
資料 3	2024 年度監査報告書	21
資料 4	2025・2026 年度事業計画書	23
資料 5	2025 年度収支予算書	25
資料 6	2025・2026 年度理事・監事一覧	27
資料 7-1	細則変更対比表	28
資料 7-2	入会金、会費の改定について	29
資料 8	役員・社員名簿	31

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度事業報告書（案）

I. 会員数

1. ブロック別会員数

2025 年 3 月 31 日現在

ブロック	都道府県	会員数
北海道・東北	北海道、青森、秋田、宮城、山形、福島、岩手	159
関東	群馬、茨城、栃木、千葉、埼玉、神奈川	322
東京都	東京都	165
甲信越・中部	静岡、愛知、岐阜、三重、福井、富山、石川、長野、山梨、新潟	281
関西	滋賀、大阪、京都、奈良、兵庫、和歌山	237
中国・四国	岡山、広島、島根、鳥取、山口、高知、香川、徳島、愛媛	138
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島、宮崎、沖縄	104
	会員数合計	1,406

2. 経年会員数推移

総会報告時

年度	会員数	対前年度比	年度	会員数	対前年度比
1998	420	-	2012	1,298	100%
1999	569	135%	2013	1,312	101%
2000	695	122%	2014	1,339	102%
2001	794	114%	2015	1,417	105%
2002	918	115%	2016	1,404	99%
2003	935	101%	2017	1,441	102%
2004	976	104%	2018	1,438	99%
2005	1,068	109%	2019	1,424	99%
2006	1,128	105%	2020	1,413	99%
2007	1,172	103%	2021	1,405	99%
2008	1,241	105%	2022	1,396	99%
2009	1,265	101%	2023	1,388	99%
2010	1,360	107%	2024	1,373	99%
2011	1,286	94%			

II. 事業報告

1. 理事会を 4 回開催した。

会議名	開催日・方法	主な議題
2024 年度 第 1 回理事会	2024 年 5 月 11 日 Zoom によるオンライン会議	2023 年度事業報告、決算・監査報告、2024 年度事業計画、予算、名誉会員候補者、第 29 回学術集会について等
2024 年度 臨時理事会	2024 年 8 月 19 日～22 日 メール審議による開催	新監事とその選任方法について

2024 年度 第 2 回理事会	2024 年 10 月 26 日 Zoom によるオンライン会議	2024 年度役員選挙、第 28 回学術集会理事会セミナー企画、「看護学生のための地域看護ハンドブック」書籍化について、入会金、年会費の改定、各委員会の活動計画、第 27 回、28 回学術集会について等
2024 年度 第 3 回理事会	2025 年 2 月 8 日 Zoom によるオンライン会議	ウェブサイト管理運用規程ならびにソーシャルメディア管理運用規程、2024 年度事業報告、2025、2026 年度事業計画、2025 年度予算について等

※その他、監査および委員会における会議（詳細は各委員会の報告書を参照）を適宜開催した。

2. メール審議を実施した

回数	審議結果報告日	議 題	結 果
第1回	2024年5月9日	投稿規程の改定案・英訳案について	第2回理事会にて審議し全会一致で承認した
第2回	2024年8月22日	宮崎先生ご逝去による新監事および選任方法について	全会一致で承認した
第3回	2024年11月19日	2024年度役員選挙告示方法について	全会一致で承認した

3. 社員総会を 2 回開催した。

会議名	開催日・方法	主な議題
2024 年度 社員総会	2024 年 6 月 28 日 TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口「カンファレンスルーム 7D」	2023 年度事業報告、決算・監査報告、2024・2025 年度事業計画、予算、名誉会員等
2024 年度 臨時社員総会	2024 年 8 月 26 日～30 日 書面による開催	新監事とその選任方法について

4. 会員報告会の開催を第 27 回学術集会会期中に開催した。

5. 第 27 回学術集会を開催した。

テーマ：地域看護のソーシャルイノベーションー地域社会の包容力を高める看護の挑戦ー

学術集会長：大森 純子

（東北大学大学院医学系研究科 名誉教授／聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授）

会 期：2024 年 6 月 29 日（土）～6 月 30 日（日）（Web 開催）～ 8 月 31 日（土）

参加者数：1,106 名

6. 第 27 回学術集会時に理事会企画セミナーを実施した。

テーマ：地域看護学・公衆衛生看護学・在宅看護学の看護基礎教育の今後に向けて

座 長：岸 恵美子氏（日本地域看護学会 副理事長）

河野 あゆみ氏（日本地域看護学会 副理事長）

7. 日本地域看護学会誌第 27 巻第 1 号（2024 年 4 月 20 日発行）、第 2 号（2024 年 8 月 20 日発行）、第 3 号（2024 年 12 月 20 日）を電子体で発行した。

8. 地域看護学に関する研究活動を推進し、委員会セミナーをオンライン開催にて実施した。
 - 1) 研究セミナー（オンライン開催）

ライブ配信：2025年3月15日（土）13：30～15：30
オンデマンド配信：3月18日（火）～3月30日（日）まで
タイトル：地域看護研究に生成 AI をいかに活用するか
講師：平 和也氏（京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻 助教）
参加者：171名（会員：146名、大学院生：13名、非会員：12名）
9. 地域看護学に関する広報活動を強化した。
 - 1) 会員専用サイトの開設を行った。
10. 地域看護学に関する教育のあり方について検討した。
11. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letter No.23 を発行した。
12. 日本地域看護学会表彰制度を運営し、規程に基づき表彰論文の決定と名誉会員候補者の検討を行った。
 - 1) 優秀論文（1編）

タイトル：10代初産母親の逆境的小児期体験（ACE）の特徴と育児中の心身の健康、経済的状況との関連(原著)
著者：大川 聡子, 眞壁 美香, 金谷 志子, 上野 昌江
巻号頁：26(1),4-12
 - 2) 奨励論文（2編）

タイトル：精神障がいを抱える親の妊娠期から学童期における支援ニーズ(研究報告)
著者：加藤 ねね, 蔭山 正子, 岩崎 りほ
巻号頁：26(1),32-40

タイトル：乳幼児虐待予防に向けて市町村保健師が支援の必要な「気になる親子」を判断するためのアセスメントの視点(研究報告)
著者：飯塚 瑞季, 大澤 真奈美, 行田 智子
巻号頁：26(3),31-42
13. 災害等の視点から地域看護の実践・教育・研究に関して検討した。
14. 地域看護学における実践活動を促進した。
15. 地域看護学における次世代育成を推進した。
 - 1) LINE オープンチャット「地域看護の次世代を考えるグループ」の運営、YouTube チャンネルにおいてライブ配信やショート動画の公開を行った。
16. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画した。
17. 地域看護学の再定義を踏まえ、関連学会との連携による地域看護学の概念整理等を行った。
18. 2025年度年会費の請求分より年会費の支払いを従来の郵便振替に加え、クレジットカードによる支払を追加した

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	編集委員会
委員長	永田 智子 (慶應義塾大学)
副委員長	田口 敦子 (慶應義塾大学)
委員	有本 梓 (横浜市立大学大学院) 石丸 美奈 (千葉大学大学院) 和泉 比佐子 (神戸大学大学院) 尾崎 章子 (東北大学大学院) 蔭山 正子 (大阪大学高等共創研究院) 亀井 智子 (聖路加国際大学大学院) 田口 理恵 (共立女子大学) 都筑 千景 (大阪公立大学大学院) 西嶋 真理子 (愛媛大学大学院) 平野 美千代 (札幌医科大学)
活動方針 (目的)	1. 学会誌「日本地域看護学会誌」の投稿論文受付から掲載までの編集作業を行う。 2. 高い学術性と親しみやすさを兼ね備えた地域看護学の学術雑誌としての学会誌を目指す。
活動報告 (実施内容)	1. 委員会開催 1) 第 1 回委員会 日 時：2024 年 5 月 28 日 (火) 18:00～20:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 出席者：永田、田口 (敦)、有本、石丸、和泉、尾崎、蔭山、亀井、田口 (理)、都筑、西嶋 議 事：継続中の論文の審査状況について、新規投稿論文の編集委員・査読委員について、第 27 巻第 2 号の掲載予定論文および依頼原稿等について、編集委員会企画連載について、投稿規程・英文投稿規程について、優秀査読者賞について、2024 年度拡大編集委員会の開催について 等 2) 第 2 回委員会 日 時：2024 年 10 月 10 日 (木) 18:00～20:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 出席者：永田、田口 (敦)、有本、石丸、和泉、尾崎、蔭山、亀井、田口 (理)、都筑、西嶋、平野 議 事：拡大編集委員会報告、継続中の論文の審査状況について、新規投稿論文の編集委員・査読委員について、第 27 巻第 3 号の掲載予定論文および依頼原稿等について、巻頭言・編集後記の執筆者について、編集委員会企画連載について、追悼記事について、迅速査読の検討について 等 3) 第 3 回委員会 日 時：2025 年 1 月 29 日 (金) 18:00～20:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 出席者：永田、田口 (敦)、有本、石丸、和泉、尾崎、蔭山、亀井、田口 (理)、西嶋 議 事：継続中の論文の審査状況について、新規投稿論文の編集委員・査読委員について、第 28 巻第 1 号の掲載予定論文および依頼原稿等について、巻頭言・編集後記の執筆者について、編集委員会企画連載について、迅速査読について 等

	<p>2. 2024 年度拡大編集委員会の開催 日 時：2024 年 6 月 29 日（土）18:40～19:40 会 場：AER6 階セミナールーム 2（第 27 回学術集会第 3 会場） 出席者：20 名（第 11 期編集委員 6 名、査読委員 14 名） 議 事：第 11 期編集委員会活動方針および 2024 年度活動計画について、投稿規程・投稿論文作成チェックリストについて、投稿から掲載までの流れについて、投稿論文の動向について、優秀査読者賞の表彰、意見交換（随時査読について、論文種別の変更についてなど） 優秀査読者：両羽美穂子氏，小出恵子氏，河野あゆみ氏</p> <p>3. 日本地域看護学会誌の発行 1) 第 27 巻第 1 号 発行日：2024 年 4 月 20 日 掲載論文：原著 1、総説 1、研究報告 2、委員会報告、編集委員会企画連載 1、NEWS FROM JACHN No.23 2) 第 27 巻第 2 号 発行日：2024 年 8 月 20 日 掲載論文：原著 2、編集委員会企画連載 1、委員会報告、学会だより 3) 第 27 巻第 3 号 発行日：2024 年 12 月 20 日 掲載論文：原著 1、研究報告 2、資料 1、第 27 回学術集会報告、編集委員会企画連載 1、委員会報告</p> <p>4. 投稿規程の変更および英文投稿規程の作成 2025 年 1 月受付分から新しい投稿規程を適用した。 1) 投稿者の資格の変更：共著者は本学会会員でなくても可、ただし、非会員を共著者に含む論文は採択後に掲載料を支払うこととした。 2) 投稿論文の種類の変更：「研究報告」の種別をなくし、原著を「地域看護上の新たな知見を科学的に提示しており学術や社会にとって意義の高い論文」と定義した。 3) 投稿料の撤廃、および掲載料の設定：掲載料については、すべての著者が本学会会員の場合は無料、共著者に非会員が含まれる場合は掲載料の支払いが必要とした。 4) 英文の投稿規程を作成・公開した</p> <p>5. 投稿数と採択までの動向 2024 年度投稿数：47 編 帰結：採択 7 編（採択率 14.9%）、不採用・辞退・期限超過 22 編、査読前リジェクト 2 編、審査継続中 16 編</p>
<p>次年度 活動計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 編集委員会を開催する（年 3 回）。 2. 拡大編集委員会を開催する。 3. 学会誌を 3 号発行し（第 28 巻第 1～3 号）、J-STAGE で公開する。 4. オンライン投稿査読システムを運用し、評価する。 5. 「優秀査読者賞」の選考および授賞を行う。 6. 論文投稿の促進に向けた対応を行う。 7. その他、本学会の目的に必要な事業の推進を図る。

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	研究活動推進委員会
委員長	大森 純子（聖路加国際大学大学院）
副委員長	平野 美千代（札幌医科大学）
委員	和泉 京子（武庫川女子大学） 牛尾 裕子（山口大学大学院） 鈴木 良美（東京医科大学） 松永 篤志（東北大学大学院） 山下 留理子（徳島大学大学院）
活動方針 (目的)	セミナーの実施等を通して、会員の研究方法に関する知識を高めるとともに、研究活動を促進し、地域看護学の発展に寄与する。
活動報告 (実施内容)	<p>1. 委員会開催</p> <p>1) 第1回委員会 日 時：2024年9月20日（月）18:00～19:30 会 場：Zoomによるオンライン会議 出席者：大森純子、平野美千代、牛尾裕子、鈴木良美、山下留理子、松永篤志、 （株式会社ユピア）国井由生子、小嶋亜紀子 議 事：①2024年の委員会の活動内容・予算の共有、活動計画、予算について、②今年度の研究セミナーの検討、④その他：研究セミナー動画アーカイブについて等</p> <p>2) 第2回委員会 日 時：2025年2月25日（火）18:30～20:00 会 場：Zoomによるオンライン会議 出席者：大森純子、平野美千代、牛尾裕子、鈴木良美、山下留理子、松永篤志、 （講師）平和也、（株式会社ユピア）国井由生子、小嶋亜紀子 議 事：①研究セミナー準備状況の確認、②当日の役割と進行について、③講師スライド COIに関する表示について</p> <p>2. 研究セミナーの実施 日 時：ライブ配信 2025年3月15日（土）13:30～15:30 オンデマンド配信 2025年3月30日（日）まで テーマ：地域看護研究に生成AIをいかに活用するか 講 師：平和也（京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻 助教） 申込受付期間：2025年1月15日（水）～2月24日（月） 参加者：171名、内訳：学会員146名(85.4%)、非会員12名(7.0%)、学生13名(7.6%) オンデマンド動画の再生回数：208回</p> <p>3. その他、会員の研究活動を推進するための活動</p> <p>1) 2023年度研究セミナー（2024年3月実施）の内容を学会誌に寄稿した。（vol.27 No.2 に掲載）</p>
次年度 活動計画	<p>1. 研究セミナーを企画する委員会を開催する。</p> <p>2. 2025年度研究セミナーを実施する。</p> <p>3. 2024年度研究セミナー（2025年3月実施）の内容を学会誌に寄稿する。 →4月16日寄稿済み、8月発行の学会誌に掲載予定</p> <p>4. HPリニューアルに合わせて研究セミナー動画アーカイブスを設ける（予定）。</p> <p>5. その他、会員の研究活動を推進するための活動を行う。</p>

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	広報委員会
委員長	田村 須賀子 (富山大学)
副委員長	安田 貴恵子 (長野県看護大学)
委員	酒井 久美子 (長野県看護大学) 鈴木 悟子 (富山大学) 新村 順子 (東京都医学総合研究所) 長谷川 美香 (福井大学) 平澤 則子 (長岡崇徳大学)
活動方針 (目的)	1. ホームページの確認と充実を図り、会員へのタイムリーかつ有用な情報提供を行う。 2. 広報活動や会員サービスの拡充を進め、新規会員獲得を目指す。 3. 他の委員会活動と連携を図る。 4. 会員及び公共の場に適切かつ安全な方法で情報発信がなされる環境整備に努める。
活動報告 (実施内容)	1. 委員会開催 1) 第1回委員会 日 時：2024年10月4日(月) 18:00～19:00 会 場：Teams によるオンライン会議 議 事：①2023年度活動報告と2024年度活動計画について、②今年度の関連団体・機関への広報活動について、③学会HPの改修・会員専用サイトについて、④学会「アカウントの運用方針」「ソーシャルメディアポリシー」案について 2) 第2回委員会 日 時：2025年3月下旬(予定) 会 場：メール会議 議 事：全国保健所地域保健担当課ならび全国市・特別区社会福祉担当課担当者を対象としたアンケート結果の集約と第28回学術集会に向けた広報活動の評価、今後に向けた企画検討 2. 「一般社団法人日本地域看護学会ウェブサイト管理運用要項」「一般社団法人日本地域看護学会ソーシャルメディア管理運用要項」「一般社団法人日本地域看護学会ソーシャルメディアポリシー」各案の作成 3. ホームページの内容の確認と充実 掲載内容の確認を定期的(月1回)に行った。新規ホームページの公開前の確認 4. 全国保健所地域保健担当課ならび全国市・特別区社会福祉担当課担当者に対する調査・広報活動 第28回学術集会に向けて：全国市町・特別区社会福祉担当課1,228か所(2025年1月10日現在)の保健師・社会福祉担当者を対象に、学術集会の案内チラシとともにQRコード付き質問紙を郵送し、「学術集会演題受付領域リスト」を載せた。調査期間は2025年2月20日～3月31日、回収数61(回収率4.97%)、有効回答数61。
次年度 活動計画	1. ホームページの内容の確認と充実 定期的に広報委員が交代でHPを確認し、早急な更新と内容の検討を行う。必要事項は委員会で検討し理事会に諮り進める。 2. 広報および会員専用サイトを通じた会員サービスの拡充と会員獲得戦略 委員会で課題整理と対応策を検討し理事会に提案する。

	<p>適切かつ安全な方法で情報発信がなされる環境整備に努める（学会方針の確定と運用）。</p> <p>3. 地域実践者(看護職)・学生・大学院生・他分野に対する広報活動（対象は検討中）</p> <p>（参考）2024年：全国市・特別区社会福祉担当課、2023年：東北地方等地域包括支援センター、2022年：全国市町特別区母子保健担当課、2021年：地域包括支援センター、2020年：公的病院地域連携室、2019年：看護学校</p> <p>4. その他、必要な事項</p>
--	---

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	教育委員会
委員長	佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学)
副委員長	岡本 玲子 (大阪大学大学院)
委員	石橋 みゆき (千葉大学大学院) 大宮 朋子 (筑波大学) 草野 恵美子 (大阪医科大学)、 斉藤 恵美子 (東京都立大学大学院) 嶋津 多恵子 (国際医療福祉大学大学院)、 諏訪部 高江 (訪問看護ステーションほのか) 藤原 和美 (関西国際大学) 持田 恵理 (大泉町保健福祉総合センター)
活動方針 (目的)	地域看護学の教育内容と方法を検討し、教育・実践現場への普及・充実をはかる。
活動報告 (実施内容)	<p>1. 委員会開催</p> <p>1) 第 1 回委員会 日 時：2024 年 10 月 5 日 (土) 13:00～15:00 会 場：実会場 (八重洲倶楽部) とオンライン (Zoom) でのハイブリット開催 参加者：石橋 みゆき、岡本 玲子、草野 恵美子 (オンライン)、斉藤 恵美子、 嶋津 多恵子、佐藤 紀子、諏訪部 高江 (オンライン)、藤原 和美、 持田 恵理 (オンライン) (敬称略) 議 事：①地域関連看護の教育内容の検討 ②地域関連看護に関連する健康課題等の検討</p> <p>2) 第 2 回委員会 日 時：2025 年 1 月 21 日 (火) 19:30～21:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：石橋みゆき、大宮朋子、岡本玲子、草野恵美子、斉藤恵美子、佐藤紀子、 嶋津多恵子、諏訪部高江、藤原和美、持田恵理 (敬称略) 議 事：①2025 年度の委員会予算案と次年度計画 ②第 28 回日本地域看護学会学術集会の WS の企画・テーマについて</p> <p>3) 第 3 回委員会 日 時：2025 年 3 月 3 日 (月) 18:00～20:00 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：石橋みゆき、大宮朋子、岡本玲子、草野恵美子、斉藤恵美子、佐藤紀子、 嶋津多恵子、藤原和美、持田恵理 (敬称略) 議 事：第 28 回日本地域看護学会学術集会の WS の内容について</p> <p>2. 地域看護関連学会合同委員会への参画 教育委員長と副委員長の 2 名が合同委員会に参画し、本委員会と連動させながら「学士課程における看護師養成のために必要な地域看護関連教育内容」(仮) およびモデルコアカリ案に対する提案内容について検討を行った。</p> <p>3. 第 27 回日本地域看護学会学術集会理事会セミナーにおいて、本学会教育委員会として話題提供を行った。</p>
次年度 活動計画	2024 年度地域関連看護学会合同委員会で作成された「学士課程における看護師養成のために必要な地域関連看護教育内容」(仮) の具体的な教授方法や活用方法を検討する。また、学術集会 WS を企画し、普及および教育方法の検討の場を設ける。

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	国際交流推進委員会
委員長	小西 かおる (大阪大学大学院)
副委員長	大川 聡子 (関西医科大学)
委員	成瀬 昂 (SOMPO インスティテュートプラス株式会社) 藤本 優子 (大分県立看護科学大学) 山本 なつ紀 (慶應義塾大学)
活動方針 (目的)	1. 会員の国際的な研究交流や学術交流の推進を目指す。 2. ニュースレターの発行、地域看護に関連する国際学会・国際ネットワークと連携し、有用な情報発信を進める。
活動報告 (実施内容)	<p>1. 委員会開催</p> <p>1) 第1回委員会 日 時：2024年10月22日(火) 11:00～12:00 会 場：Zoomによるオンライン会議 参加者：小西委員長、大川委員、藤本委員、成瀬委員、山本委員 議 事：英文ニュースレター企画ほか</p> <p>2. 英文ニュースレターの発行</p> <p>1) NEWS FROM JACHN No. 24 (学会誌第28巻第1号掲載)の発行に向けて、掲載内容および執筆者を確定し、原稿の執筆依頼を行った。 特集テーマおよび掲載内容を以下のとおり決定した。</p> <p>(1) 認知症政策としての共生社会創出と地域看護実践の現状</p> <p>①認知症政策の動向と共生社会創出の必要性； 山本なつ紀 (慶應義塾だ歯学看護医療学部/助教)</p> <p>②住民と共創する認知症にやさしいまちづくり-地方都市での取り組み-； 猿渡進平 (白川病院/医療連携室室長・医療ソーシャルワーカー)</p> <p>③認知症の生活支援にむけた地域包括支援センターの試み-都市部での取り組み-； 岡野明美 (大阪公立大学大学院看護学研究科/准教授)</p> <p>④産業保健分野における認知症予防に向けた支援 富塚美和 (駒沢女子大学看護学部看護学科/助教)</p> <p>(2) 論文賞の紹介、今後の関連国際学会の情報など</p> <p>2) 国際的な研究交流や学術交流に有用な情報の提供</p> <p>(1) WANS 理事会に参加した。</p> <p>(2) 8th World Academy of Nursing Science Congress (WANS) —5th International Conference of the Indonesian National Nurses Association (ICINNA)の一般演題査読委員を大川委員、山本委員が務めた。</p>
次年度 活動計画	1. NEWS FROM JACHN No. 25 を発行する。 2. 必要に応じて、国際的な研究交流や学術交流に有用な情報を提供する。 3. 委員会を年1回以上、開催する。

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	表彰論文選考委員会
委員長	鳩野 洋子 (九州大学大学院)
副委員長	永田 智子 (慶應義塾大学)
委員	合田 加代子 (大阪歯科大学) 田高 悦子 (北海道大学大学院) 永井 眞由美 (安田女子大学)
活動方針 (目的)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本地域看護学会誌に掲載された優れた論文について、規程に沿って、「優秀論文賞」および「奨励論文賞」(以下、表彰論文)を選考する。 2. 日本地域看護学会に多大な寄与をした者の中から、規程に沿って、日本地域看護学会名誉会員(以下、名誉会員)候補者を選考する。 3. 日本地域看護学会「表彰論文」ならびに「名誉会員」にかかわる、その他必要な事業等を推進する。
活動報告 (実施内容)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 度、委員会を開催した。第 1 回委員会 5 月 第 2 回委員会 3 月実施。 (Zoom によるオンライン会議) 2. 2024 年度表彰論文について <ol style="list-style-type: none"> 1) 昨年度変更した選定方法により投票率が改善したことに基づいて、本年度も同様の方法で実施した。(委員内で絞込を行い、その上で理事・代議員による投票により決定) 2) 対象論文は規程に基づき、学会誌第 26 巻第 1～3 号に掲載された論文を対象とした。 3) 理事・代議員による投票結果を踏まえ、独創性、新規性、学術的発展性、実践的有用性の観点から審議の上、表彰論文の選考を行った。 3. 名誉会員候補者について <ol style="list-style-type: none"> 1) 規程に基づき、名誉会員候補者について検討を行った。 4. その他、本事業の充実に向けて <ol style="list-style-type: none"> 1) 学会 HP 上に表彰論文選考理由および受賞者の声を掲載した。 2) 学術集会において受賞論文の掲示を行った。
次年度 活動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論文種別の変更に伴う、表彰規程の検討を行う。 2. 選定方法の検討を行う。 3. 学会誌第 27 巻に掲載された優れた論文について、規程に沿って、表彰論文を選考する。 4. 日本地域看護学会に多大な寄与をした者の中から、規程に沿って、名誉会員候補者を検討する。 5. 日本地域看護学会「表彰論文」ならびに「名誉会員」にかかわる必要な事業等を推進する。

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	健康危機支援委員会
委員長	石田 千絵（日本赤十字看護大学）
副委員長	奥田 博子（国立保健医療科学院）
委員	川口 奏子（在宅看護研究センターLLP/日本在宅看護システム有限公司） 川野 和也（立川市北部東わかば地域包括支援センター） 佐々木 亮平（岩手医科大学） 堀池 諒（大阪医科薬科大学） 吉川 悦子（日本赤十字看護大学）
活動方針 (目的)	1. 健康危機に係るワークショップを学会で提供する。 2. 健康危機に係る情報を収集しHP上で提供する。 3. 有事の際、関連学会と協力して必要な支援を検討し、可能な範囲で対応をする。
活動報告 (実施内容)	1. 委員会開催 1) 第1回委員会 日時：2024年6月28日(土)16時半～17時半 会場：第27回学術集会茶話会会場 出席者：石田 奥田 佐々木 堀池 吉川 議事：第27回及び第28回学術集会のワークショップ内容の検討 災害に係る情報の共有と、有時に向けた委員会の取組内容の検討 (保健師だけでなく他の看護職等を対象とした学会であることの確認も含む) 2) 第2回委員会 日時：2024年9月6日(金)13時～14時 会場：zoomを用いたオンライン会議 出席者：石田 川口 川野 佐々木 堀池 吉川 議事：災害関連情報の今後の利活用、ワークショップの報告書作成、情報のHP掲載 災害情報の共有と有時に向けた取組、第28回学術集会の研修内容の検討 3) 第3回委員会 日時：2025年1月28日 会場：zoomを用いたオンライン会議 出席予定者：石田 奥田 佐々木 堀池 2. 2024年度健康危機支援委員会ワークショップの開催と報告 1) 第27回学術集会 ワorkshopを開催 内容：令和6年能登半島地震発災2か月後の全島の様子 GISを用いた見える化 堀池先生、板谷先生、佐々木先生によるプレゼン 参加者12名（委員と板谷先生除く） 2) 学会誌への活動報告 3. 2025年度「令和6年能登半島地震及び豪雨災害」後の現地調査 日時：2025年3月26日(水)～28日(金) 参加予定者：石田 奥田 佐々木 堀池 内容：GISに掲載する定点観測を中心とした調査
次年度 活動計画	1. 健康危機支援委員会を開催する（年3回） 2. 健康危機支援委員会ワークショップを開催する（第28回学術集会） 3. 災害危機に係る情報をHP上に掲載し、更新する 4. その他、大規模な健康危機が生じた際、関連学会と協働し、被災地の学会員、支援や受援に係る専門職に役立つ情報を提供する。

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	実践促進委員会
委員長	田口 敦子（慶應義塾大学）
副委員長	秋山 正子（株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション）
委員	石川 志麻（慶應義塾大学） 浦山 美輪（東北大学病院） 尾形 由起子（福岡県立大学） 曾我 智子（泉大津市地域包括支援センター） 中村 順子（ホームホスピス秋田訪問看護ステーション） 三輪 恭子（大阪公立大学大学院）
活動方針 (目的)	1. 地域看護学の実践者と研究者の情報交換や連携を促進する。 2. 優れた地域看護の実践を発掘、検証し、実践知として蓄積する。
活動報告 (実施内容)	1. 委員会開催 1) 第 1 回委員会 日 時：2024 年 5 月 27 日（月）14:00～15:15 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：田口、秋山、浦山、尾形、曾我、石川 ゲスト：藤田、能勢 議 事： (1) 学術集会でを行うワークショップ打合せ 話題提供内容の検討や当日の役割分担、事前準備の確認を行った。 2) 第 27 回学術集会におけるワークショップ開催 タイトル：当事者×実践者×研究者＝みんなで作る質の高い実践！ 日 時：2024 年 6 月 29 日（土）16：40～18：00 場 所：TKP ガーデンシティ仙台 2 1 階 第 6 会場 21B 参加者：14 人 内 容： 実践者と研究者の共同研究事例として秋山正子氏、能勢佳子氏（鹿児島県肝付町職員）と藤田冬子氏（神戸女子大学教授）の話題提供と、小グループで意見交換を行なった。 3) 第 2 回委員会 日 時：2024 年 12 月 13 日（水）10:30～11:30 会 場：Zoom によるオンライン会議 参加者：田口、秋山、浦山、尾形、三輪、中村、曾我、石川 議 事： (1) 今後の活動実施計画
次年度 活動計画	1. 実践促進委員会を開催する。 2. 実践者と教育研究者の共同研究の好発事例の情報収集を行う。 3. 上記 2. で得られた情報を基に、地域看護学会として実践者と研究者の困り事やニーズを把握し、互いの持ちうる資源を繋いでいかれるプラットフォーム構築を検討する。

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	次世代育成推進委員会
委員長	蔭山 正子 (大阪大学高等共創研究院)
副委員長	石丸 美奈 (千葉大学大学院)
委員	阿部 宏史 (藍野大学) 板谷 智也 (金沢大学) 岡野 明美 (大阪公立大学) 川崎 涼子 (長崎大学) 佐藤 太一 (千葉大学大学院) 寺本 健太 (晴海おとしより相談センター) 成瀬 昂 (SOMPO インスティテュートプラス株式会社) 堀池 諒 (大阪医科薬科大学) 松井 理恵 (群馬大学大学院)
活動方針 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの地域看護学の発展のために重点的に取り組むべき研究課題を検討し、次世代の地域看護学を担う学会員の研究活動の活性化と推進を図る体制づくりを行う。 ・これからの地域看護の研究や実践を担う次世代の研究者や実践者の育成を推進するとともに、本学会が重点的に取り組むべき研究課題を推進すべく、次世代の研究者や実践者ととともに戦略を実施する。
活動報告 (実施内容)	<ol style="list-style-type: none"> 委員会開催 2024/4/23、2024/7/30、2025/3/26、その他 Slack にて開催 学術集会ワークショップ 2024/6/29 実施、参加者 20 名程度。 LINE オープンチャット「地域看護の次世代を考えるグループ」 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「地域看護の次世代を考えるグループ 2023」開設、運営 参加者 78 名 (2025 年 1 月 22 日時点) 2) 参加者の交流：2024/12/27 にライブトーク開催 (10 名弱) 3) 参加者向け春休みセミナー：2025/3/12 (企業商品開発と地域看護)、3/19 (VR, メタバース)、3/26 (高齢者の見守り)。第 1 回 18 名、第 2 回 23 名、第 3 回 22 名が参加。 ライブ企画 <ol style="list-style-type: none"> 1) 第 1 回「コミュニティアセスメントって最近はどうなってるの」 2024/11/6 視聴回数 162 回 (2025/1/22 現在) 2) 第 2 回「実践・研究者が中堅になって思うこと」 2024/12/10 視聴回数 138 回 (2025/1/22 現在) 3) 第 3 回「個人・コミュニティの課題解決に向けたメタバースの使い方」 2025/2/18-3/18 視聴回数 160 回 (3/18 配信終了) ショート動画作成 <ul style="list-style-type: none"> ・学会体験動画「日本地域看護学会第 27 回学術集会」視聴者数 103 回 (2025/1/22 現在) ・はじめての学会発表に関する動画作成 ・動画概要欄に掲載する注意点等を整理
次年度 活動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議の開催 2. 学術集会ワークショップの開催 3. LINE オープンチャット「地域看護の次世代を考えるグループ」の運営、勉強会等の開催 4. YouTube などを用いた情報発信

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	地域看護関連学会合同委員会
委員長	(日本地域看護学会) 河野 あゆみ
委員	(日本地域看護学会) 佐藤 紀子、岡本 玲子 (日本公衆衛生看護学会) 岩本 里織、岸 恵美子 (日本在宅看護学会) 小野 若菜子、尾崎 章子
オブザーバー	(日本地域看護学会理事長) 麻原 きよみ (日本在宅看護学会理事長) 山田 雅子
活動方針 (目的)	関連学会との連携による地域看護学領域の概念、看護基礎教育に必要な地域看護関連教育内容を検討する。
活動報告 (実施内容)	<p>1. 2024 年度は日本地域看護学会が幹事学会となり、運営した。</p> <p>2. 第 27 回日本地域看護学会学術集会理事会セミナーにおいて、検討状況を報告した。</p> <p>3. 「学士課程における看護師養成に必要な地域看護関連教育内容」(仮)を検討している。</p> <p>4. JANPU モデルコアカリキュラム連絡調整委員会からの依頼をうけて、「地域社会における健康支援」(仮)について、関連団体とともに協議の上、意見を提出した。</p> <p>5. JANPU モデルコアカリキュラム特別 WG メンバーとして参画した。</p> <p>6. 委員会開催 (オンライン会議)</p> <p>1) 第 1 回委員会 日 程：2024 年 5 月 10 日 (金) 議 事：モデルコアカリキュラム改訂に関する基本的資質・能力 日本地域看護学会理事会セミナーの構成 地域に関連する看護の対象と機能</p> <p>2) 第 2 回委員会 日 程：2024 年 6 月 29 日 (金) 議 事：日本地域看護学会理事会セミナー 地域看護関連能力を育成する看護学基礎教育の卒業時到達目標と教育内容 今後の進め方</p> <p>3) 第 3 回委員会 日 程：2024 年 9 月 3 日 (火) 議 事：モデルコアカリキュラムのパブリックコメント 看護師に必要な地域看護関連の能力と学士課程の卒業時到達目標・教育内容 モデルコアカリ資質・能力案の解析部分の補足説明 (JANPU 西村礼子先生)</p> <p>4) 第 4 回委員会 日 程：2024 年 11 月 6 日 (水) 議 事：JANPU モデルコアカリ特別ワーキング検討状況 出版企画と今後の進め方</p> <p>5) 第 5 回委員会 日 程：2025 年 2 月 24 日 (月) 議 事：看護師に必要な地域看護関連の能力と学士課程の卒業時到達目標・教育内容 について、書籍化せずに、日本地域看護学会誌にて報告を掲載する。</p>
次年度 活動計画	3 学会にて情報交換を行い、必要な課題を検討する場を年に 1 回程度設ける予定。 (2025 年度は日本公衆衛生看護学会が幹事学会となる予定)

一般社団法人日本地域看護学会 2024 年度委員会活動報告書(案)

委員会	選挙管理委員会
委員長	岸 恵美子 (東邦大学大学院看護学研究科)
副委員長	石田 千絵 (日本赤十字看護大学看護学部)
委員	井口 理 (日本赤十字看護大学看護学部) 望月 由紀子 (東邦大学看護学部公衆衛生看護学研究室)

2024 年度時点のご所属

2024 年度役員選挙 結果報告書

1. 役員選挙開票結果

有権者数	65 人		
投票者数	55 人		
投票率	84.62%		
投票数	一	理事 (投票上限人数 5 人)	監事 (投票上限人数 2 人)
	有効票	262 票	104 票
	白票	13 票	6 票
	有効票+白票	275 票	110 票

2025 年 1 月 23 日開票

2. 理事 (選挙当選理事)

(敬称略・50 音順)

No.	氏名	所属先
1	麻原 きよみ	大分県立看護科学大学
2	石橋 みゆき	千葉大学大学院
3	石丸 美奈	千葉大学大学院
4	和泉 比佐子	神戸大学大学院
5	牛尾 裕子	山口大学大学院
6	岡本 玲子	大阪大学大学院
7	岸 恵美子	東邦大学大学院
8	河野 あゆみ	大阪公立大学大学院
9	佐藤 紀子	千葉県立保健医療大学
10	田高 悦子	北海道大学大学院
11	永田 智子	慶應義塾大学
12	春山 早苗	自治医科大学

2024 年度時点のご所属

3. 監事

(敬称略・50 音順)

No.	氏名	所属先
1	荒木田美香子	川崎市立看護大学
2	北山 三津子	岐阜県立看護大学

2024 年度時点のご所属

一般社団法人日本地域看護学会 2024年度収支計算書(案)

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月 31日

I. 一般会計

1. 収入

(単位:円)

項目	2024年度 予算	2024年度 決算	差異 (収入減 △)	執行率	備考
1 年会費	13,680,000	13,370,000	△ 310,000		10,000円×1,337件 2024年度:1,304/1,356人(入金率 96.1%)、過年度:33件
2 入会金	650,000	505,000	△ 145,000		5,000円×101件
3 寄付金	0	0	0		
4 第27回学術集会	11,158,000	11,751,141	593,141		助成金710,000円を含む
5 委員会セミナー参加費	415,000	444,500	29,500		
6 投稿料	200,000	180,000	△ 20,000		5,000円×36件
7 雑収入	10,200	15,712	5,512		
(1) 利息	200	9,112	8,912		
(2) 著作権使用料	10,000	6,600	△ 3,400		
(3) その他	0	0	0		
(A) 当期収入合計	26,113,200	26,266,353	153,153		
前期繰越金	32,828,872	32,828,872	0		
(B) 合計	58,942,072	59,095,225	153,153		

2. 支出

(単位:円)

項目	2024年度 予算	2024年度 決算	差異 (支出増 △)	執行率	備考
事業費支出					
1 第27回学術集会	12,158,000	12,751,000	△ 593,000	104.9%	
2 理事会セミナー	50,000	0	50,000	0.0%	
3 会員報告会	50,000	30,140	19,860	60.3%	お弁当お茶代
4 研究論文表彰費	150,000	133,760	16,240	89.2%	論文賞副賞110,000円を含む
5 学会誌	3,650,000	2,650,450	999,550	72.6%	第27巻第1号、第2号、第3号
(1) 製作費	3,500,000	2,606,450	893,550	74.5%	
(2) J-STAGE掲載作業費	150,000	44,000	106,000	29.3%	
6 委員会活動費	2,501,000	1,919,163	581,837	76.7%	
(1) 編集委員会	750,000	530,451	219,549	70.7%	委員会開催(3回)、拡大編集委員会開催費(1回)等
(2) 研究活動推進委員会	500,000	442,063	57,937	88.4%	委員会開催(3回)、セミナー開催費
(3) 広報委員会	263,000	258,651	4,349	98.3%	委員会開催(2回)、アンケート調査実施費用
(4) 教育委員会	208,000	81,722	126,278	39.3%	委員会開催(3回)
(5) 国際交流推進委員会	200,000	151,800	48,200	75.9%	委員会開催(1回)、NL No.23作成費を含む
(6) 表彰論文選考委員会	70,000	55,000	15,000	78.6%	委員会開催(2回)、表彰論文選考費用
(7) 健康危機支援委員会	198,000	248,116	△ 50,116	125.3%	委員会開催(3回)、能登半島地震における現地調査
(8) 実践促進委員会	189,000	78,971	110,029	41.8%	委員会開催(3回)
(9) 次世代育成推進委員会	123,000	72,389	50,611	58.9%	委員会開催(2回)、勉強会講師謝金等
(10) 地域看護関連学会合同委員会	0	0	0		
7 選挙運営費	300,000	253,999	46,001	-	
(1) 選挙管理等受付管理費	220,000	220,000	0	-	
(2) 代議員選挙運営費	0	0	0	-	
(3) 役員選挙運営費	50,000	31,619	18,381	-	名簿作成費、印刷費、発送費等
(4) 選挙管理委員会会議費	30,000	2,380	27,620	-	委員会開催費(1回)
8 諸会費	100,000	100,000	0	100.0%	
(1) 日本看護系学会協議会	80,000	80,000	0	100.0%	2024年度会費
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000	20,000	0	100.0%	2024年度会費
9 雑費	50,000	0	50,000	0.0%	
事業費小計	19,009,000	17,838,512	1,170,488	93.8%	

項目	2024年度 予算	2024年度 決算	差異 (支出増 △)	執行率	備考
管理費支出					
1 会議費	300,000	125,521	174,479	41.8%	
(1) 理事会	200,000	56,375	143,625	28.2%	理事会(3回)、監査(1回)
(2) 社員総会	100,000	69,146	30,854	69.1%	社員総会(2回)
2 交通・宿泊費	400,000	34,780	365,220	8.7%	
3 印刷費	400,000	183,984	216,016	46.0%	封筒・年会費
4 発送費	600,000	451,156	148,844	75.2%	
5 ホームページ管理費	1,000,000	759,000	241,000	75.9%	メールリングリスト配信・HP管理費
6 業務委託費	3,500,000	3,240,520	259,480	92.6%	
7 租税公課	70,000	70,000	0	100.0%	法人税
8 雑費	1,640,000	1,370,050	269,950	83.5%	
(1) 振込手数料	40,000	50,050	△ 10,050	125.1%	振込手数料・振替通知書発行手数料
(2) その他	1,600,000	1,320,000	280,000	82.5%	ホームページ改修費・会員専用サイト構築費等
管理費小計	7,910,000	6,235,011	1,674,989	78.8%	
(C) 当期支出合計	26,919,000	24,073,523	2,845,477	89.4%	
(A-C) 当期収支差額	△ 805,800	2,192,830	△ 2,998,630	-	
(B-C) 次期繰越金	32,023,072	35,021,702	△ 2,998,630	-	

財産目録

令和 7 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人日本地域看護学会

事業名：事業全体

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	普通預金 (事務センター)	三菱UFJ銀行	一般会計/学会運転資金	24,243,967
	郵便振替 (年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	1,009,230
	普通預金 (第27回学術集会運転資金)	ゆうちょ銀行	一般会計/第27回学術集会運転資金	49,031
	普通預金 (第28回学術集会運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第28回学術集会運転資金	1,210,528
	普通預金 (事務センター)	ゆうちょ銀行	一般会計/学会運転資金	10,001,304
	未収金	ゆうちょ銀行	一般会計/第27回学術集会運転資金	46
流動資産合計				36,514,106
資産合計				36,514,106
(流動負債)	未払金	健康危機支援委員会	一般会計/現地調査費等	248,116
	未払金	(株)ワルトプランニング	一般会計/研究論文表彰費等	23,760
	前受金 (年会費等)	ゆうちょ銀行	一般会計/翌事業年度計上年会費等	1,010,000
	前受金 (第28回学術集会運転資金)	三菱UFJ銀行	一般会計/第28回学術集会運転資金	210,528
流動負債合計				1,492,404
負債合計				1,492,404
正味財産				35,021,702

貸借対照表

令和 7 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人日本地域看護学会

事業名：事業全体

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	36,514,060	36,145,099	368,961
普通預金 (事務センター)	24,243,967	31,432,809	△ 7,188,842
郵便振替 (年会費等)	1,009,230	2,999,230	△ 1,990,000
普通預金 (第 26 回学術集会運転資金)	0	331,053	△ 331,053
普通預金 (第 27 回学術集会運転資金)	49,031	1,382,007	△ 1,332,976
普通預金 (第 28 回学術集会運転資金)	1,210,528	0	1,210,528
普通預金 (事務センター)	10,001,304	0	10,001,304
未収金	46	0	46
前払金	0	65,780	△ 65,780
前払金 (第 27 回学術集会運転資金)	0	18,000	△ 18,000
流動資産合計	36,514,106	36,228,879	285,227
資産合計	36,514,106	36,228,879	285,227
II 負債の部			
流動負債			
未払金	271,876	0	271,876
前受金 (年会費等)	1,010,000	3,000,000	△ 1,990,000
前受金 (第 27 回学術集会運転資金)	0	400,007	△ 400,007
前受金 (第 28 回学術集会運転資金)	210,528	0	210,528
流動負債合計	1,492,404	3,400,007	△ 1,907,603
負債合計	1,492,404	3,400,007	△ 1,907,603
III 正味財産の部			
一般正味財産	35,021,702	32,828,872	2,192,830
正味財産合計	35,021,702	32,828,872	2,192,830
負債及び正味財産合計	36,514,106	36,228,879	285,227

監査報告書

2025年 5月 15日

一般社団法人日本地域看護学会
理事長 麻原 きよみ 殿

一般社団法人日本地域看護学会

監事 森本 田美香子



私監事は、一般社団法人日本地域看護学会の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び収支計算書の正確性を検討した。
- (3) 監査はWeb会議により実施した。監事1人ずつが署名・捺印した監査報告書を2枚作成した。

2. 監査結果

(1) 業務等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、一般社団法人日本地域看護学会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

2025年 5 月 15 日

一般社団法人日本地域看護学会
理事長 麻原 きよみ 殿

一般社団法人日本地域看護学会

監事 北山三津子  印

私監事は、一般社団法人日本地域看護学会の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び収支計算書の正確性を検討した。
- (3) 監査は Web 会議により実施した。監事 1 人ずつが署名・捺印した監査報告書を 2 枚作成した。

2. 監査結果

(1) 業務等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、一般社団法人日本地域看護学会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に示しているものと認めます。

一般社団法人日本地域看護学会 2025年度事業計画書(案)

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第28回学術集会を開催する。
5. 第28回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第28巻第1号、第2号、第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育を推進する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、英文ニュースレターを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害等の視点から地域看護の実践・教育・研究に関して検討する。
13. 地域看護学における実践活動を促進する。
14. 地域看護学における次世代育成を推進する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画する。
16. 地域関連看護学会との協議により、連携のあり方などについて検討を行う。
17. その他必要な事業を行う。

一般社団法人日本地域看護学会 2026年度事業計画書(案)

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第29回学術集会を開催する。
5. 第29回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第29巻第1号、第2号、第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育を推進する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、英文ニュースレターを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害等の視点から地域看護の実践・教育・研究に関して検討する。
13. 地域看護学における実践活動を促進する。
14. 地域看護学における次世代育成を推進する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画する。
16. 地域関連看護学会との協議により、連携のあり方などについて検討を行う。
17. 代議員選挙・役員選挙を行う。
18. その他必要な事業を行う。

一般社団法人日本地域看護学会 2025年度収支予算書(案)

自 2025年 4月 1日

自 2026年 3月 31日

I. 一般会計

1. 収入

(単位:円)

項目	2025年度 予算	2024年度 予算	2024年度 決算	備考
1 年会費	12,970,000	13,680,000	13,370,000	正会員10,000円×1,292人、ユース会員5,000円×10人
2 入会金	500,000	650,000	505,000	5,000円×100人
3 寄付金	0	0	0	
4 第28回学術集会	12,130,000	11,158,000	11,751,141	
5 委員会セミナー参加費	500,000	415,000	444,500	研究活動推進委員会セミナー参加費
6 投稿料(2024年度9月まで)	0	200,000	180,000	5,000円×40件
7 掲載料	50,000	0	0	5,000円×10人
8 雑収入	13,000	10,200	15,712	
(1) 利息	3,000	200	9,112	
(2) 著作権使用料	10,000	10,000	6,600	
(3) その他	0	0	0	
(A) 当期収入合計	26,163,000	26,113,200	26,266,353	
前期繰越金	35,021,702	32,828,872	32,828,872	
(B) 合計	61,184,702	58,942,072	59,095,225	

2. 支出

(単位:円)

項目	2025年度 予算	2024年度 予算	2024年度 決算	備考
事業費支出				
1 第28回学術集会	12,130,000	12,158,000	12,751,000	
2 理事会セミナー	50,000	50,000	0	
3 会員報告会	50,000	50,000	30,140	
4 研究論文表彰費	150,000	150,000	133,760	論文賞副賞:110,000円、その他:40,000円
5 学会誌	3,650,000	3,650,000	2,650,450	第28巻第1号、第2号、第3号
(1) 製作費	3,500,000	3,500,000	2,606,450	
(2) J-STAGE掲載作業費	150,000	150,000	44,000	
6 委員会活動費	2,768,729	2,501,000	1,919,163	
(1) 編集委員会	740,000	750,000	530,451	
(2) 研究活動推進委員会	500,618	500,000	442,063	
(3) 広報委員会	207,000	263,000	258,651	
(4) 教育委員会	208,000	208,000	81,722	
(5) 国際交流推進委員会	200,000	200,000	151,800	
(6) 表彰論文選考委員会	70,000	70,000	55,000	
(7) 健康危機支援委員会	300,000	198,000	248,116	
(8) 実践促進委員会	189,411	189,000	78,971	
(9) 次世代育成推進委員会	353,700	123,000	72,389	
7 選挙運営費	0	300,000	253,999	
(1) 選挙管理等受付管理費	0	220,000	220,000	
(2) 代議員選挙運営費	0	0	0	
(3) 役員選挙運営費	0	50,000	31,619	
(4) 選挙管理委員会会議費	0	30,000	2,380	
8 諸会費		100,000	100,000	
(1) 日本看護学会協議会		80,000	80,000	
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会		20,000	20,000	※2025年度から管理費へ変更
9 雑費	50,000	50,000	0	
事業費小計	18,848,729	19,009,000	17,838,512	

項目	2025年度 予 算	2024年度 予 算	2024年度 決 算	備 考
管理費支出				
1 会議費	300,000	300,000	125,521	
(1) 理事会	200,000	200,000	56,375	監査会議費・Web会議費用を含む
(2) 社員総会	100,000	100,000	69,146	Web会議費用を含む
2 交通・宿泊費	400,000	400,000	34,780	
3 印刷費	400,000	400,000	183,984	会議資料・封筒・年会費請求書等印刷費
4 発送費	800,000	600,000	451,156	年会費請求書・入会通知・学術集会案内等発送費
5 ホームページ管理費	1,000,000	1,000,000	759,000	管理費、メール配信費用、会員専用サイト管理費
6 業務委託費	3,500,000	3,500,000	3,240,520	
7 租税公課	70,000	70,000	70,000	法人税
8 諸会費	100,000			
(1) 日本看護系学会協議会	80,000			
(2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会	20,000			※2025年度から管理費へ変更
9 雑費	355,000	1,640,000	1,370,050	
(1) 手数料	73,000	40,000	50,050	振込手数料、振替通知書発行手数料、
(2) 手数料	202,000			クレジットカード手数料
(3) その他	80,000	1,600,000	1,320,000	登記変更費等
管理費小計	6,925,000	7,910,000	6,235,011	
(C) 当期支出合計	25,773,729	26,919,000	24,073,523	
(A-C) 当期収支差額	389,271	△ 805,800	2,192,830	
(B-C) 次期繰越金	35,410,973	32,023,072	35,021,702	

一般社団法人日本地域看護学会
2025～2026 年度 理事・監事候補者一覧

1. 理 事

(敬称略・50音順)

No.	氏 名	所属先
1	麻原 きよみ	大分県立看護科学大学
2	有本 梓*	横浜市立大学大学院
3	石橋 みゆき	千葉大学大学院
4	石丸 美奈	千葉大学大学院
5	和泉 比佐子	神戸大学大学院
6	牛尾 裕子	山口大学大学院
7	岡本 玲子	大阪大学大学院
8	岸 恵美子	東京医療保健大学
9	河野 あゆみ	大阪公立大学大学院
10	佐藤 紀子	千葉県立保健医療大学
11	田高 悦子	北海道大学大学院
12	永田 智子	慶應義塾大学
13	成瀬 昴*	SOMPO インスティテュートプラス
14	春山 早苗	自治医科大学
15	平山 司樹*	訪問看護ステーションかつさい
16	三輪 恭子*	大阪公立大学

*：推薦理事

2. 監 事

(敬称略・50音順)

No.	氏 名	所属先
1	荒木田美香子	川崎市立看護大学
2	北山 三津子	岐阜県立看護大学

細則変更 対比表

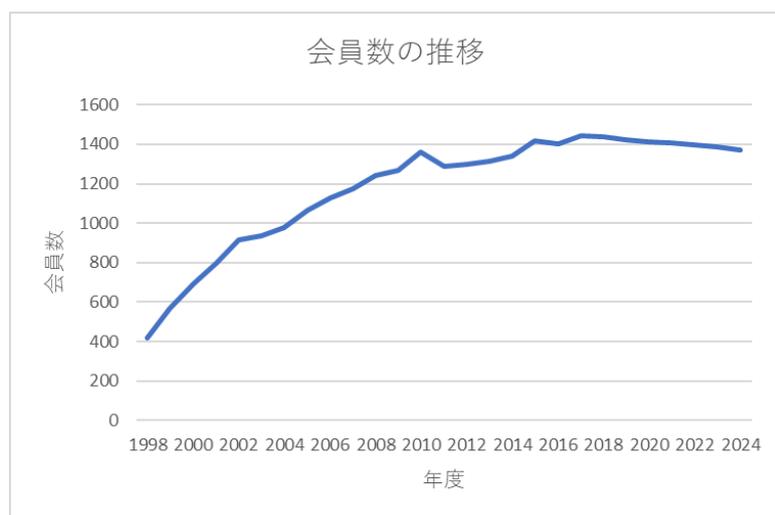
変更後	変更前
<p>第1条 会則第 12 条に規定する入会費、年会費については、以下の通りとする。</p> <p>(1) 本会の正会員の入会金は <u>0 円</u>とする。</p> <p>(2) 本会の正会員の会費は、年額 10,000 円とする。</p> <p>(3) <u>本会のユース会員の入会金は 0 円とする。</u></p> <p>(4) <u>本会のユース会員の会費は、年額 5,000 円とする。</u></p> <p>(5) 本会の賛助会員の会費は、1 口年額 <u>30,000 円</u>とする。</p> <p>(6) 本会の入会を希望する者は、会員承認通知後 1 か月以内に、入会金および会費を納入しなければならない。納入が確認できない場合は、入会申込みおよび会員承認を取り消すこととする。</p>	<p>第1条 会則第 12 条に規定する入会費、年会費については、以下の通りとする。</p> <p>(1) 本会の正会員の入会金は 5,000 円とする。</p> <p>(2) 本会の正会員の会費は、年額 10,000 円とする。</p> <p>(3) 本会の賛助会員の会費は、1 口年額 20,000 円とする。</p> <p>(4) 本会の入会を希望する者は、会員承認通知後 1 か月以内に、入会金および会費を納入しなければならない。納入が確認できない場合は、入会申込みおよび会員承認を取り消すこととする。</p>
<p>第2条 この細則を改正する場合には、理事会の議を経て<u>総会</u>の承認を必要とする。</p>	<p>第2条 この細則を改正する場合には、理事会および評議員会の議を経て総会の承認を必要とする。</p>
<p>付記</p> <p>第1条 本細則の改正は平成 14 年 6 月 23 日より施行する。</p> <p>第2条 <u>本細則の改正は令和 8 年 4 月 1 日より施行する。</u></p>	<p>付記</p> <p>第1条 本細則の改正は平成 14 年 6 月 23 日より施行する。</p>

下線部を加筆ならびに変更する

入会金，年会費の改定に関する検討

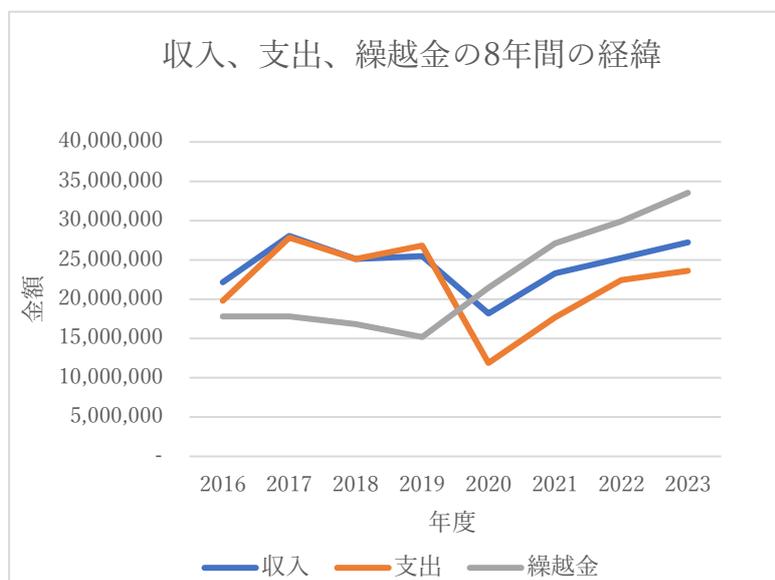
1. 会員数の推移

2018年度より2024年度まで、1%ずつ微減している。本学会は様々な取り組みをしているところであるが、会員増につながっていない。最も多い会員の年代層は50代、次いで60代である。会員の増加、特に若い年代層の会員を増やしたい。



2. 収入、支出、繰越金の8年間の経緯

2020年度の新型コロナウイルス感染症パンデミックの時期には収入、支出が激減したが、特に支出の減少が大きい。2021年度から収入、支出は増加しているが、オンライン会議等による旅費等の支出が減少したことにより、収入の額が支出を上回っており、繰越金が増加し、2023年度は32,828,872円である。繰越金の増加について、会員のためのサービスを活発にすべきことが指摘されており、本学会もさまざまな取り組みを行っているところであるが、支出は収入より少ない状況と繰越金の増加が継続している。



3. 入会金、年会費の 4 パターン（現状通り・入会金なし+年会費 10,000 円・入会金なし+年会費 9,000 円・入会金なし+年会費 8,000 円）の 10 年間の試算

正会員：入会金 5,000 円、年会費 10,000 円
 ユース会員は入会金 0 円、年会費 5,000 円

本学会は、入会には入会金が必要であるが、多くの学会では入会金の設定がない。現行通り（入会金 5,000 円+年会費 10,000 円）であると、10 年後の 2034 年には繰越金が 49,846,402 円になる。繰越金は、入会金なし+年会費 10,000 円では 43,711,402 円、入会金なし+年会費 9,000 円では 31,262,322 円、入会金なし+年会費 8,000 円では 18,813,242 円となる。ただし、これらの入会金と年会費改正の取り組みは、会員増加分は反映されていない。

1 年間会費収入がなくとも学会活動が維持できる繰越金の額とすると、入会金なし+年会費 10,000 円か、入会金なし+年会費 9,000 円が想定できる。しかし、大規模災害などにより会費納入および会員減少が複数年継続した場合、および今後の郵送費の増加や物価高騰に伴う業務委託費の増加、消費税の増加等の可能性を考慮すると、入会金なし+年会費 10,000 円（現状の会費）の設定が現実的である。

現在、本学会では、次世代育成推進委員会が活発に活動している。また学会誌への投稿は筆頭著者以外は非会員でも可能となり、投稿料が廃止になるなど投稿しやすい体制となっている。このような学会の取り組みに加え入会金を廃止することは、会員、とりわけ若い世代の入会促進を期待できる。

<提 案>

学会運営の継続的安定を図りつつ、会員、特に若い年代層の入会を促進するために、2026 年度より、入会金なし、会費は 10,000 円で据え置きとする。ただし、年会費の改定については、今後、社会情勢および学会の財政状況等を踏まえて再度検討を行うものとする。

一般社団法人日本地域看護学会 2023～2024 年度役員名簿

理事長

麻原 きよみ (大分県立看護科学大学)

副理事長

岸 恵美子 (東京医療保健大学)

河野 あゆみ (大阪公立大学)

理事

秋山 正子 (㈱ケアーズ白十字訪問看護ステーション) 佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学)

石田 千絵 (日本赤十字看護大学) 田口 敦子 (慶應義塾大学)

大森 純子 (聖路加国際大学大学院) 田村 須賀子 (富山大学)

岡本 玲子 (大阪大学大学院) 永田 智子 (慶應義塾大学)

蔭山 正子 (大阪大学高等共創研究院) 鳩野 洋子 (熊本保健科学大学)

小西 かおる (大阪大学大学院) 三森 寧子 (千葉大学)

小林 真朝 (聖路加国際大学)

監事

荒木田美香子 (川崎市立看護大学)

北山 三津子 (岐阜県立看護大学)

一般社団法人日本地域看護学会 2023～2026 年度社員名簿

代 議 員

秋山 正子 (㈱ケアーズ白十字訪問看護ステーション)	佐伯 和子 (富山県立大学)
麻原 きよみ (大分県立看護科学大学)	坂本 真理子 (愛知医科大学)
荒木田美香子 (川崎市立看護大学)	佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学)
有本 梓 (横浜市立大学大学院)	佐藤 由美 (群馬大学大学院)
安齋 由貴子 (清泉女学院大学)	塩見 美抄 (京都大学大学院)
安藤 智子 (千葉科学大学)	鈴木 良美 (東京医科大学)
石垣 和子 (石川県立看護大学)	田口 敦子 (慶應義塾大学)
石田 千絵 (日本赤十字看護大学)	田高 悦子 (北海道大学大学院)
石橋 みゆき (千葉大学大学院)	田中 美延里 (愛媛県立医療技術大学)
石丸 美奈 (千葉大学大学院)	田村 須賀子 (富山大学)
和泉 比佐子 (神戸大学大学院)	都筑 千景 (大阪公立大学大学院)
入野 了士 (愛媛県立医療技術大学)	富田 早苗 (川崎医療福祉大学)
岩本 里織 (神戸市看護大学)	永井 眞由美 (安田女子大学)
上野 昌江 (四天王寺大学)	長江 弘子 (亀田医療大学)
牛尾 裕子 (山口大学大学院)	永田 智子 (慶應義塾大学)
大川 聡子 (関西医科大学)	西嶋 真理子 (愛媛大学大学院)
大木 幸子 (杏林大学)	西出 りつ子 (名古屋学芸大学)
大澤 真奈美 (群馬県立県民健康科学大学)	野村 陽子 (名寄市立大学)
大森 純子 (聖路加国際大学大学院)	鳩野 洋子 (熊本保健科学大学)
尾形 由起子 (福岡県立大学)	春山 早苗 (自治医科大学)
岡本 玲子 (大阪大学大学院)	平澤 則子 (長岡崇徳大学)
奥田 博子 (国立保健医療科学院)	平野 美千代 (札幌医科大学)
表 志津子 (金沢大学)	細谷 紀子 (千葉県立保健医療大学)
蔭山 正子 (大阪大学高等共創研究院)	松尾 和枝 (福岡女学院看護大学)
門間 晶子 (名古屋市立大学)	松下 光子 (岐阜県立看護大学)
亀井 智子 (聖路加国際大学大学院)	守田 孝恵 (獨協医科大学)
川崎 涼子 (長崎大学)	安田 貴恵子 (長野県看護大学)
岸 恵美子 (東京医療保健大学)	柳澤 理子 (愛知県立大学)
北山 三津子 (岐阜県立看護大学)	矢庭 さゆり (新見公立大学大学院)
合田 加代子 (大阪歯科大学)	山崎 洋子 (山梨市役所)
河野 あゆみ (大阪公立大学)	山田 洋子 (岐阜県立看護大学)
小西 かおる (大阪大学大学院)	横山 美江 (大阪公立大学大学院)
斉藤 恵美子 (東京都立大学大学院)	吉田 礼維子 (天使大学)